



問い合わせ先 人権啓発課  
☎0968(25)7209

平成27年度菊池市人権フェスティバル出品作品

「作文の部」特選

「福祉体験から学んだこと」  
七城中3年 牧綾音  
皆さんは、「障がい者」という言葉を聞いてどのような事を思い浮かべますか。ほとんどの人は、怖いなどのイメージを持っている人が多いと思います。私も福祉体験をするまでは、正直、怖いというイメージを持っていました。だから、体験場所が決まって、障がい者支援施設と聞いた時は、戸惑ってしまいました。しかし、2日間の福祉体験で、障がいのある方への考えが変わりました。

私は、2日間、障がい者支援施設「居屋敷の里」へ福祉体験に行きました。福祉体験に行くまでは、七城に障がい者支援施設があることは、知りませんでした。初めてこのような施設のことを聞いて、そこに行くという事もあって最初は不安ばかりでした。

福祉体験1日目は、毎朝行われるという朝の活動から始まりました。初めて利用者の方を見て、2日間ここでやりとげることが出来るのかという不安が一番に頭をよぎりました。最初に利用者の方へ自己紹介をしたあと、リズム体操

という活動をしました。くまもん体操やラジオ体操などを利用者の方と一緒に体操をしたりして活動しました。まだ、1日目の初対面という事もあり、「コミュニケーションもまともに取ることができませんでした。朝の活動が終わったあとは、昼からそうめん流しをするので準備でした。私は、朝の活動で利用者の方に何もできなかったぶん、喜んでもらえるように、暑い中準備を頑張りました。そうめんは、大成功でした。利用者も皆さん笑顔で楽しそうでした。私は利用者さんの楽しそうな笑顔を見られて、私はとてもうれしかったです。少しずつですが、私は、利用者の方と打ちとける事ができました。

2日目は、昨日と同様、朝の活動から始まりました。今日の私の目標は、「利用者の方とコミュニケーションをたくさんとる」という事を決めていました。まず、利用者の方へ笑顔であいさつをしてコミュニケーションをとりました。そしたら利用者の方も笑顔で答えてくださいました。あいさつをしたら、そのまま会話が続き、

少しずつコミュニケーションも増えていきました。朝の活動も、みんな楽しくする事ができました。そのあとは、レクレーションをしました。ゲームの説明は、分かりやすく簡単にすることが大変でした。だけど、利用者の方とレクレーションをしていると自然にみんなが笑顔になりました。ゲーム途中、戸惑った事もあったけど、とても楽しかったです。そのあとも、終わって移動するとき、「一緒に行く」と手をひっぱってくれたり、「一緒に遊ぼう」と言っていてボールを持ってきてくれたりしたことがとてもうれしかったです。1日目と比べると、倍以上にたくさんのコミュニケーションを取ることができました。

この2日間の福祉体験でいろいろな事を学びました。最初は、体験場所が障がい者支援施設と聞いて、戸惑っていた私も、2日間が終わるころには、居屋敷の里が体験場所であんなに楽しく思いました。何も分からないのに、見た目だけで判断することは、本当にいけない事だと、あらためてこの2日間の体験で感じさせられました。最初は、障がい者のイメージは、怖いと言っていたけど、今は、本当の優しさを持っている方々だ

と私は思います。できない事は、利用者さん同士で助けてあげる。そのような行動をしていたところを見て私は感動しました。最後に思いましたが、この作文の文字を見て思った事は、ありませんか。「障がい」という文字を見てください。「がい」という文字だけ平仮名で書いています。漢字で書くと「障害者」という文字になります。でも、真ん中の文字を見てください。「害」という文字が使われています。障がい者の

方は、害なのでしょうか。同じ人間なので害ではないと思います。この事が今日本ではひそかに問題になっています。しかし、少しずつですが「障害者」の文字を「障がい者」とする活動が行われてきています。例をあげると、全ての会社かどうかは分かりませんが、新聞社などです。私は、この活動を広めて日本中のみなさんに知ってもらいたいです。少しでもはやく、日本中の「障害者」の書き方が「障がい者」となりますように。



【ポスターの部】入選  
泗水西小1年 たなかあいみ

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

編物作家 後藤仁  
創作和素材ニット「かすりあみの世界」  
期間 4月5日(火)～10日(日)

久留米緋の綿糸を使って一点一点編み上げる優しい風合いとデザインのニットです。



菊池一族と延寿鍛冶展  
期間 4月16日(土)～30日(土)

菊池一族のお抱え鍛冶として繁栄した延寿鍛冶の歴史と文化を振り返り、「菊池一族の魂」を再発見する展覧会です。ぜひお越しください。



5月24日(火)～6月19日(日)までの展示室使用を受け付けています。詳しくはお尋ねください。  
開館時間 午前9時～午後6時  
※期間中の閉館日はありません。

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】  
自論言霊展 高木敬二  
期間 4月5日(火)～17日(日)

煤竹のペンで、駄目な自分に言い聞かせて鼓舞するような言葉を、自分に向けて描いてみました。体験コーナーもあります。

青山昌充鉄道写真展「しょうえん」青山昌充  
期間 4月19日(火)～5月8日(日)

「青ガエル」「S L人吉」など鉄道写真の傑作を30点展示。四季多彩な作者の小宇宙にご招待します。

【まちかど資料館企画展】  
菊池十八外城展  
期間 ～5月8日(日)

菊池十八外城は四方に城塞を配置して連携をなし、守備を固めました。この企画では時代の動きと外城の役割を紹介します。

開館時間 午前9時～午後5時  
※休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)



イデベンチャー

里山ならではの「体験プログラム」も充実しています。米づくりなど農業体験から団子作りなどの郷土料理、竹細工など自然と関わる体験を楽しめます。季節を感じながら地域を歩くフットパスや、農業用水路をカヤックで下るアドベンチャー「イデベンチャー」などのプログラムも提供しています。今でも子どもたちの声が響く、かつての学び舎。初めてなのに懐かしい。そんな「築校」です。

ふるさと緑の便り  
菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 さくちふるさと水源交流館  
☎0968(27)01002

楽しい学び舎Ⅱ築校  
平成12年に廃校となった菊池東中学校は、水源地区住民の力によって「さくちふるさと水源交流館」として生まれ変わりました。

今は新しくなった木造校舎には、宿泊施設も整備され、元音楽室だったレストランでは、地元旬の食材をふんだんに使った料理がいただけます。グラウンドや体育館はレクリエーションやスポーツ合宿などに利用されています。

「はいーごらー菊池市消費生活センターですー」(40)

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450  
(月)～(金)午前10時～正午、午後1時～午後4時 福祉課



たくさんの方が出前講座に参加しています

目指せ！賢い消費者  
消費生活に関するトラブルは、年々巧妙になり複雑化しています。被害額も大きく、深刻な社会問題となっています。菊池市消費生活センターでは、市民の皆さんが「賢い消費者」になり、トラブルに遭わないための知識を学んでもらえるように、啓発活動の一環として出前講座を実施しています。

相談を受け付けています

菊池市消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。個人情報厳守します。

事前にご連絡いただくとスムーズに対応できます。

とき(土・日を除く)  
午前の部 午前10時～正午  
午後の部 午後1時～4時

ところ  
市役所本庁舎2階消費生活センター(福祉課内10番窓口)

